

昭和 54 年卒業の菅原です。本日は、第 7 回大橋・菅原研究室同窓会にご参加いただき誠に有難うございます。今回は、ご案内のように秋田にて 2 泊 3 日の会を計画させていただきました。前回の第 6 回は、3 年前に東京で開催しております。その前までほぼ 5 年毎の開催が定着しつつあったのですが、前回の席上、40 年卒の森様から「5 年は待てない、その間に秋田ででも企画できないか」というご提案をいただきました。今回は、そのご提案に応える意味で、秋田での会を企画しました。ただ秋田県外からは交通の便があまり宜しく無いことや 2 泊 3 日は長すぎるかなとも思いましたが、でもやるなら同窓生の皆様としっかり思い出に残ることをやろうという意図で企画致しました。

まずは本日これからの講演会では、今精力的にご活躍のお二方、佐藤崇紀様と京極博様にそれぞれ食品分野ならびに医薬品分野でのお話をいただき、まさにプロフェッショナルの流儀をご紹介いただきます。

また明日には趣向を変えまして、鉱山の街小坂を訪ねていただく、あるいは熊も出没するやもしれませんが、秋田ならではの緑豊かな中でのゴルフを満喫していただく、さらに毛馬内では秋の気配すら感じる夜空に響く太鼓と盆踊りにご参加いただきまして、あらためて秋田を再発見していただきたいと思っております。

これら企画はすべて「よく学んでよく遊べ」の大橋先生の言葉を遵守したものと自負したいところなのですが、天国の大橋先生なら多分、にやっと笑って

一言「ばかけっ」とおっしゃるような気も致します。

さて現在の研究室ですが、菅原、大川、加藤の3名の教員と技官1名で運営しております。このところ地方大学の研究費がかなり削減され、大学自体のあり方が急変しておりますが、私ども研究室はJST、JICA、NEDOのプロジェクトに加え複数の企業との共同研究を実施中で、研究有っての大学と信じ、研究のアクティビティーを落とさないように頑張っております。

ところで7回目の同窓会が今始まろうとしているときに次回同窓会の提案ですが、2020年のオリンピックの年の秋頃に東京での開催を考えております。是非この同窓会の際にでも、ご意見を頂戴できれば有り難く存じます。

最後になりますが、今回の同窓会開催にあたって、菅原拓男先生から多大なご厚志を頂戴しております。それでは今回ご参加の皆様の胸に、良い思い出が残ることを祈念致しまして、開会の挨拶と致します。